

令和3年度  
池田小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- めあてをもち、ふり返ることにより、主体的に考える力を育成する授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○昨年度の R60 の取り組みを通して、学習を振り返り、学びの高まりを感じられる児童が増えている。 ●学力の定着や主体性に個人差がある。	・学習の過程を通して習得した知識や技能を用い、主体的に学習に取り組むことができる。 ・本時の学習を振り返り、身に付けた学習内容や自分の思いや考えを深め、確かな学力を身に付けることができる。	・何が書かれているかを捉えさせるために、アンダーラインや囲みなどを用い、内容を正確に読み取らせる工夫をする。 ・自分の思いや考えを深めるために、ペア学習など他者の意見を取り入れる場面を増やす。 ・R60(振り返り)を軸として、身に付けた学習内容や自分の思いや考えを深めるために、「書く」活動の機会を継続して取り入れる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、友達の見解を聞くことができたりすることができる児童が多い。 ●自分の考えをまとめたり、理由をつけて発表したりする度合いに個人差がある。	・意欲的に自分の考えを場面や目的に応じて的確な言葉を選んで話したり、書いたりできる。 ・話し合いの場面で、根拠を明らかにして話したり、相手の話を受けて自分の考えを述べたり、話し合ったりすることができる。	・ホワイトボードなどの様々な学習用具や ICT を活用し、話し合い活動等の充実を図る。 ・多様な意見や考えが生まれたり、児童の意欲が高まる学習課題や活動を設定する ・視点を明確にした公開授業を行う。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業に対して一生懸命取り組むことができる。 ●学習課題を主体的にとらえ考える力に課題がある。 ●家庭学習(宿題・自主学習・読書)の取り組み方に個人差がある。	・家庭学習(自主学習)においても、自らの学習課題を主体的に捉え、それを解決できるよう主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。	・めあてと振り返りを意識した授業を心がけ、児童が見通しを持ち、意欲的に学習に取り組めるようにする。 ・手引きを活用し、児童に学習の視点を示したり保護者への啓発を行ったりし、家庭学習の充実を図る。 ・授業において、家庭学習につながるようなノート指導を行う。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

